



## 新型コロナウイルス 感染症対策における

### 緊急要望書を提出！【第4弾】

1月13日、京都府において緊急事態宣言が発出されました。早急な対策と、今後を見据えた体制作りについて、直ちに改善に取り組むことを求めました。また府に対しても強く働きかけることを要望致しました。今回の瓦版では要望書の中から重要な内容を抜粋してお届けします！

全文はホームページにて掲載しています。➡



#### 保健所業務の効率化

保健所



保健所業務を維持していくためには、業務の棚卸しを行い、専門性がなくとも実施できる業務を洗い出し効率的な分担を行っていくことが今後更に必要である。例えば検査結果の連絡や聞き取り調査については、一定の研修を受けた一般職員や民間医療機関などにも協力してもらうなどの体制づくりを検討すること。

他都市で実施されているような、自宅療養や自宅待機の方への配食サービス等のサポートを充実させること。

#### ワクチン接種体制



ワクチン接種の有効性や副反応などの情報を、HPや市民しんぶんへの掲載、クーポン券(仮称)への記載など市民に分かりやすく示し、問い合わせや相談に応じる体制を確立すること。

夜間・休日でも対応可能な体制づくりを進めること。

接種方法に関して、密にならない環境づくりのためにドライブスルー方式などの導入も検討すること。

#### コロナ禍の教育について



感染への不安から児童・生徒が学校への登校を控える場合でも、学習保障を充実するためにライブ配信などによるオンライン授業を伴った選択登校制を導入すること。

#### 京都府への要望



この第3波において現在の病床体制では医療逼迫が生じている。重症病床確保には惜しみない財政支援を行い、病床数の拡充及び医療体制の確保を早急に進めること。

福祉施設入所者で入院の必要性があるとされる方が自宅待機とならないよう、宿泊療養施設で一定の介護体制を構築すること。

## 神谷修平 プロフィール

1986年11月19日生まれ 関西学院大学卒業

- 文化財保存修復師として10年間  
国宝・重要文化財の絵画の修理に携わる。
- バスケットボール部に中学から高校まで、6年間所属
- 妻と子供2人の4人暮らし
- 京都ハンナリーズを支援する京都市会議員連盟 幹事
- 京都サンガF.C.を支援する京都市会議員連盟